

様式第7号

公益財団法人埼玉県国際交流協会 理事長 様

新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航についての誓約書

私は、 年度「埼玉発世界行き」奨学金の奨学生として渡航するに当たり、裏面の項目をすべて確認し、下記の事項を遵守することを誓約します。

記

1. 留学先国・地域が、新型コロナウイルス感染症により外務省が発出する感染症危険情報レベル2以上であることを自覚し、自らの判断で渡航します。
2. 留学先国・地域及び留学先大学等の防疫措置を遵守し、感染防止に努めます。
3. 留学先への渡航中及び現地滞在中は、埼玉県の奨学生としての意識を常に持ち、健康に留意し、責任を持って行動します。
4. この誓約書を提出する前に留学先に渡航した場合は奨学金が減額されることについて同意します。
5. 渡航中に留学先国・地域で、外務省が感染症や治安の状況により退去勧告を発出した場合、速やかに指示に従います。

以上

令和 年 月 日

氏名 _____ (署名)

保護者氏名 _____

(奨学生が未成年者の場合、保護者の自署)

新型コロナウイルスによる外務省の感染症危険情報レベル2以上の 国・地域に渡航する際の確認項目

- (1) 留学先国・地域における最新の感染状況及び感染拡大防止のための法令（マスクの着用等）を把握している。
- (2) 留学先国・地域への渡航手段がある。
- (3) 留学先国・地域に日本人留学生が入国可能であること及び入国に必要な手続きについて申請中又は完了している。
- (4) 留学先国・地域への入国時における水際措置及び入国後に取りべき行動（公共交通機関の利用可否等）について把握している。
- (5) 留学先国・地域で感染の疑いが生じた場合、または濃厚接触者と認定された場合、感染した場合に取りべき行動及び相談先を具体的に把握している。
 - ・相談できる機関
 - ・検査できる機関
 - ・受け入れ可能な医療機関
- (6) 留学先国・地域での滞在先が決定しており、必要な生活物資が確保できる。
- (7) 留学先大学等において留学生の受け入れ体制が整えられている。
- (8) 留学先大学等において学習や活動を継続するための感染防止対策がとられている。
- (9) 今後、留学先国・地域において（再）流行した際に取りべき対応をシミュレーションしている。
- (10) 帰国ルートが確保されており、帰国後の防疫措置を把握している。（帰国前に最新状況を再確認する）
- (11) 留学先国・地域の政府が指定する健康保険、又は旅行傷害保険に加入している。
- (12) 感染症危険レベル情報2以上（レベル4を除く）での渡航において奨学金等が支給対象となる特別措置は、新型コロナウイルス感染症の影響に限定した取扱いであることを承知した。

上記（1）から（12）まですべて確認の上、新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航についての誓約書（表面）に署名または記名捺印してください。

確認後、次の書類をすべて提出してください。

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航についての誓約書（表裏面とも）
- ② 上記（5）及び（8）について内容が確認できる書類
（例 当該事項が記載されている公式ウェブサイトのプリントアウト等）